

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

稲福蓮音さん、同志社大学で大活躍！

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

2022年度関西学生ソフトテニス大会 個人戦 準優勝

令和4年度関西学生ソフトテニスシングルス選手権大会 3位

第41回全日本大学ソフトテニス王座決定戦 団体戦 3位



写真：令和4年度関西学生ソフトテニスシングルス選手権大会3位入賞時

喜如嘉出身で現在同志社大学（京都府）4年生の稲福蓮音さん（21）が県外で大活躍を見せています。

最近では8月20日（土）～21日（日）に熊本県民総合運動公園テニスコートで開催された令和4年度国民体育大会第42回九州ブロックソフトテニス競技に沖縄県の代表として出場。これまでも2022年度関西学生ソフトテニス大会個人戦準優勝、令和4年度関西学生ソフトテニスシングルス選手権大会3位、第41回全日本大学ソフトテニス王座決定戦団体戦3位と素晴らしい成績を収めました。

小学校1年生の頃からソフトテニスを始めた蓮音さんは中学校、高校でもソフトテニスに打ち込み、輝かしい成績を残してきました。競技に臨む際は常に自分らしいテニスをする、悔いのないプレイをすることを意識していた

と話す蓮音さん。今では沖縄にいた時の倍の練習をこなしているそうです。

次の大会は9月2日～7日に山口県で行われる第76回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会、第77回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会、第64回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会。蓮音さんは「本気でソフトテニスに向き合う最後の大会になる。悔いを残さず完全燃焼できるよう頑張りたい」と意気込みを話してくれました。

同志社大学でソフトテニスと勉強、文武両道に励む蓮音さん。これまでの努力を称賛するとともにこれからの活躍も期待します。



村内のホットな活動をご紹介します♪

大宜味人の **ホット** する話

このコーナーでは地域の方々が取り組んでいるさまざまな活動を紹介していきます。紹介してほしい活動などあれば教育委員会までご連絡ください。

「津波海岸、3年ぶりの海岸清掃」

7月24日(日)、津波海岸一帯の海岸清掃を行いました。

コロナ禍のため3年ぶりとなった今回の海岸清掃には区民や区内にある事業者の方々など子どもから大人まで61名が参加しました。同じ区内にいても久々の顔合わせ。当日は暑い中ではありましたが、マスクを着用しコロナ対策を取りながら作業を行い、約1時間でペットボトルやビニール、ビン、外国の漂着ゴミなど集めることができました。



屋良区長は「この日まで大型の台風がなく、思ったよりゴミも少なく、無事に活動を終えることができた。参加されたみなさんありがとうございます」と感謝しました。車の手配や飲み物の提供など様々な協力もあり、作業も捗りました。みなさんお疲れ様でした!! 吉田春子

～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第7回 教育委員会会議 令和4年7月28日(木)午後2時 開催

《審議事項》

- 報告第11号 大宜味村学校保健委員の委嘱について 《報告》
- 報告第12号 大宜味村学校給食センター運営委員の委嘱について 《報告》
- 議案第14号 令和5年度使用小学校教科用図書の採択について 《原案可決》
- 議案第15号 令和5年度使用中学校教科用図書の採択について 《原案可決》
- 議案第16号 令和5年度使用特別支援関係教科用図書の採択について 《原案可決》
- 議案第17号 大宜味村教育委員会事務局処務規程の一部を改正する訓令 《原案可決》
- 議案第18号 大宜味村教育委員会教育長職務代理者の指名及び事務委任等に関する規程 《原案可決》

図書室情報 No.37 2022年(令和4年)9月 大宜味村図書室(旧大宜味小学校2F:村史編集係内) 大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

利用状況累計

- 来室者数…のべ1,910人
- 貸出冊数…3,403冊
- 登録者数…134人

8月の統計(8/25まで)

- 来室者数…のべ49人
- 貸出冊数…98冊

現在の蔵書数…6,699冊

9月図書室カレンダー 閉室日:

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

来室の際はマスクの着用、手指の消毒、できるだけ少人数でのご利用をお願いします。体調の優れない方は来室を控えてください。

新着図書



県立図書館の本コーナーにおいてほしい本募集中!!

- 本の題名
 - 作者名
 - 好きなジャンル など
- 9/30までに村図書室へお知らせください。

大宜味小6年 前田琉邑さん NPB ガールズトーナメント 2022 大会 大宜味中1年 金城ゆうのさん 第7回全日本女子軟式野球大会 出場で大活躍

7月29日(金)～8月4日(木)に石川県で行われたNPBガールズトーナメント2022(全日本女子学童軟式野球大会)に大宜味小学校6年の前田琉邑さんが沖縄ガールズチームの一員として、8月18日～24日に京都府で行われた第7回全日本女子軟式野球大会に大宜味中1年生の金城ゆうのさんが沖縄ガールズチームのメンバーとして出場しました。



前田琉邑さん 金城ゆうのさん

6年生になり、選抜チームの一員として活躍している琉邑さん、平日の結Gutsでの練習の他に土日は選抜チームで練習試合などに励み、今大会では2試合で5打席、4打数、3安打という素晴らしい成績を収めました。

琉邑さんは「選抜のメンバーに選ばれたのは結Gutsの練習や監督に指導してもらえたおかげ。バッティングの練習に力を入れていたので、今回の大会ではチーム1位の打率になれた。選手交代することなく、ずっと試合に出場できたもの嬉しかった」と話してくれました。

小学6年生時から沖縄ガールズチームで活躍しているゆうのさん。部活での練習後にガールズチームの練習に参加しています。

ゆうのさんは「今大会では2試合にフル出場でき、いい経験になった。どちらも1点差の接戦。練習の時から声出しを意識していたので、5点差ついた時も気持ちを下げないで声を掛け合い頑張ることができたので良かった。次の九州大会と来年の全国大会は今年より活躍できるよう意識づけて練習したい」と意欲を見せてくれました。沖縄県の代表として日々頑張る2人。これからの活躍にも期待しています!

沖縄で海外留学体験!! 『まちなか留学』実施

令和4年8月20日(土)から22日(月)までの2泊3日間、中学生を対象とした「まちなか留学」が行われました。まちなか留学とは、県内に住む外国人宅にホームステイし、その家庭の語学や文化等を学び生徒の英語に対する興味・関心を高めることを目的とした事業です。



今回、大宜味中学校1年生から3年生まで合わせて14名が参加しました。生徒たちは事前にスピーキング練習や各自で英語学習を経て留学当日を迎えました。

嘉手納町で行われた留学初日のWelcomeセレモニーでは参加生徒と各ホストファミリーが集まり、生徒代表として我那覇藍貴さんが英語で挨拶を行いました。セレモニー後は各ホストファミリー宅へ移動し、それぞれのホームステイ先で体験・交流を行いました。

最終日の22日(月)に行われたFarewellセレモニーでは、1年生の平良夏音さんが生徒を代表して英語でお礼のスピーチを行いました。ホームステイを終えた生徒たちは初日に見られた緊張感はなく「ホストファミリーとたくさん英語で話し、コミュニケーションがとれた」などの声が挙がりました。生徒それぞれが充実したまちなか留学を過ごし、ホストファミリーと最後の別れを惜しみました。

今回参加した生徒たちには「まちなか留学」で学んだ体験を今後活かし、将来の活躍を期待したいと思います。



令和4年度ぶながやの里生涯学習講座 大宜味おもしろ科学教室 開催♪

8月3日（水）、4日（木）大宜味小学校多目的室において、沖縄こどもの国の宮里優子さん、友利和也さんを講師に招き、令和4年度ぶながやの里生涯学習講座おもしろ科学教室「作ってみよう！テレイドスコープ」、「イシイロ絵の具を作ろう♪」が行われました。



たかが石、されど石



触る



柔らかい石って？

いろいろな種類の石、見て、触って、味わってみよう！



なめる！？



きれいな石



光る☆

石から絵の具が作れちゃうってホント！？

イシイロ絵の具を作ろう♪

4日はイシイロ絵の具づくり。身近にある様々なものに鉱物が使われていることを教わり、光る石ややわらかくて薄い石、食べられる石など様々な石を見たり触ったり味わったりして体験しました。

柔らかい石の中から今回は孔雀石、白雲母、琉球石灰岩を砕いて粉にしたものをのり水で溶き、緑やベージュ、白の絵の具にして色塗りを楽しみました。



よ〜く混ぜて！



石から絵の具を作ったら、思い思いに色を塗ろう♪



みなさん、とても丁寧です。



仕上がりが楽しみ♪



調整しながら進めます



石を潰して絵の具の素を作ろう！



どんな世界が見えるかな？



色々な色の光を見てみよう！



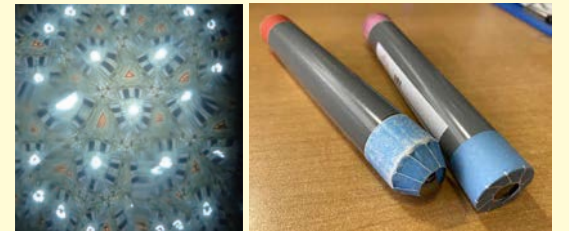
自分だけのテレイドスコープ完成

今回挑戦した2つの工作はインターネットやホームセンター、100円ショップで揃えられる材料を使って作っています。ぜひおうちでも試してみてください。

見るものすべてが不思議な模様！？ 作ってみよう！テレイドスコープ



3日はテレイドスコープづくり。ものをうつす鏡の性質を学び、二面鏡や三面鏡の面白さも体験しました。今回挑戦したのは筒の中にあるビーズやスパンコールの動きを見る万華鏡（カレイドスコープ）ではなく、テレイドスコープ（遠華鏡）。1つ1つ手順を教えてもらいながら丁寧に作業し、あっという間に完成すると周りにあるものや光、友達の服などを覗き込み、不思議な景色を楽しみました。



実験！光の反射



三面鏡の中に置いてある人形いくつ見える?? 中に入った人の顔は??



四面鏡～六面鏡に挑戦中…



○トーチカまたはトーチカ（米寿祝）旧8月8日

親戚縁者、村中の人々が祝福を送り 88歳の長寿にあやかる盛大な祝いが行われる。祝宴のある家では柱に長寿を祝う聯（れん：朱の紙に縁起のいい言葉（漢詩）を書いたもの）を両側に対で貼り、米の切り盛りを使う竹製の斗搔きを、盛った米に立てて祝う。戦前はあやかりの印に斗搔きを来訪者に一本宛配った。

あやかり酒をふるまう凛とした媼（屋古）



お祝いの主役を囲んで子孫繁盛の図（謝名城）

ユネヌトーチカヤ 米のトーチカヤ
キリマスドゥヤユル 切り升どうやゆる
ムイチキヌカジマヤユ 盛着のカジマヤユ
ウニゲサピラ 御願さびら



米寿祝のソテツ門（田嘉里）昔は大きなお祝いや運動会などの特別な日にはソテツの葉で飾り付けた門が建てられハレの日を演出した



大宜味村役場旧庁舎の米寿祝（2012年）入口に一对の赤い聯が貼ってある



ふつう、祝宴はバンクをかいて（※縁側から屋外に仮設の床を設え屋内と一続きにすること）自宅で行なった。時代が進むと公民館などの公共施設から、ホテルや結婚式場などへと変わり、近年は人を招いての大きな祝宴はせずに、家族だけで食事会や旅行をするなど、時代と共にお祝いの形も変わってきた。

お祝いには三線と踊りがつきもの。興が乗ると、普段はむっつりしているおじさんが空手の形を取り入れたキレのある踊り見せたり、独特のシナをつけて自分の舞に没頭する人など、どこのムラでも必ず名物の踊り手がいた。また、掛け合いで踊る夫婦が一組出ると、我も負けじと尻込みする相方を引っ張り出したり、「〇〇ヤー！〇〇ヤー！」と会場からのコールがわき起こり、次々と踊り手が出て場をハネーかし（※盛り上げて）宴は夜更けまで続いた。お開きになり帰る段になると、大体は靴のない人が何人かいる。人が集まる場ではなぜか、新しい靴を誰かが履いていってしまうので、翌日、誰かの靴を引っ提げて家々を回り自分の靴を取り戻すということがよくあった。



村史編さんだより

第137号 2022年9月1日 大宜味村村史編纂係44-3009



祝・ご尊老 トーチカ・カジマヤー祝によせて

クワマガスルティ ヨネヌユエスマチ マタンカジマヤヌ ウニゲサピラ
子孫揃てい 米の祝すまち またん風車の お願さびら



医師として村・県会議員として長年、激動期の沖縄社会に貢献し、戦後は喜如嘉のシンジュンタンメーと呼ばれ親しまれた平良真順翁のカジマヤー祝の様子（1970年）

『喜如嘉の写真集』より

○カジマヤー 旧9月7日

数え年 97歳（生まれ年一トウシビー）に行われる。風車を飾って親戚縁者を従えて集落内を回り、家では祝宴をあげる。

カジマヤーの由来については、この年齢になると童心に戻るので、子供の玩具の象徴であるカジマヤー（風車）を持たせたという説が一般的だが、明治の頃まで、カジマヤー祝いは模擬葬礼だったという。

カジマヤーを迎えると、新しく生まれ変わるのだと考えられ、死装束を着せて木製の小さな四輪車に乗せ7つの四辻（今でいう十字路）を回り、お墓まで連れて行き、生まれ変わった者として墓から連れ戻したという。カジマヤーの行列が墓から戻るのが見えると、村人はそっと横道にそれ、出会わないようにした。

それは、カジマヤーを迎えて生まれ変わった者に、その分だけ寿命を縮めさせられるからだとされている。カジマヤーの名称も「風車」ではなく「四辻（交差するところ：アジマー）」からつけられたものという説もある。今はカジマヤーのパレードを見かけたら、誰もがかけつけ、長寿をあやかる祝いの輪ができる。




左：津波の成田嘉三翁の真赤なオープンカーのパレード（2001年）『津波誌』より



右：字大宜味の平良カナ媼のカジマヤーパレード 引き連れた子孫の多さが圧巻（1984年）『大宜味字誌』より

※翁（おきな：男の老人の敬称）媼（おうな：女の老人の敬称）




 「しまふとうば」ぬくとう 80


先日、琉球舞踊の人間国宝に認定された「宮城幸子公演」を観た。人間国宝本人の踊りはもちろんのこと、他の多くの踊り手（立方）や唄・三線を中心とした地謡（地方・ぢかた）も素晴らしかった。宮城幸子氏が羽地の出身ということで名護市民会館での公演であったが、踊り、地方にやんばる出身者も多かった。そのことも考えながら観ているとキムワサワサしたりナダグルグルしたり感慨深いものがあった。

「踊りは地方とともにある」と誰かが言ったか知らないが、踊りが上手くても地方が上手くないと踊りも上手く観えなくなる。今回は地方も素晴らしかった。地方の唄・三線は比嘉康春、中村逸夫、新垣俊道の3名であった。比嘉康春氏は辺士名高校での一期後輩にあたり、隣の東村出身で前県立芸術大学の学長まで務めた人である。彼は将来の三線の人間国宝予定者（個人的な予想）でもある。中村逸夫は塩屋の出身で比嘉康春氏の愛弟子であるが、現在県立芸大で非常勤講師を務る傍ら国立劇場沖縄を中心に演奏活動を活発に行っている。新垣俊道は現在国立劇場沖縄で組踊研修生の講師として活躍中。中村逸夫、新垣俊道はじめこの前後の年代の県立芸大出身者が現代の琉球伝統芸能を支える中心的な役割を担っている。

国の重要無形文化財に指定されている「組踊」について、「組踊」は観るものではなく、聞くものであると、よく言われる。組踊で立方が舞台上で表現する悲しみ、喜び等を地方が唄と三線等で表現するのである。

今回の人間国宝の公演は踊りであったが、踊りに合わせた地方の唄を聞いていて「ふいーふんぎたちゅたん（すごい感銘を受けた）」。見る、聞く側だけでなく、舞台にいて何かしら演ずる立場になりたい衝動にかられた。琉球芸能は沖縄の素晴らしい財産である。

～ 踊いナークニー 踊いん美はいしが 地方ナークニーや ゆくん勝てい ～


 今月の生きもの


タイワンウマオイ：キリギリス科

こんばんは。私タイワンウマオイです♪

童謡「虫のこえ」で千ヨン千ヨン千ヨン千ヨンスーイッ千ヨンでお馴染みのウマオイです。平地から山地にかけての林縁部や御嶽林等で暮らしていて民家の庭先にもいることがあります。なので実はみんなも鳴き声は聞いたことあるかも。

私たちキリギリスの仲間は肉食性です。なので獲物を捕らえやすいよう足にトゲがあります。きれいな声かわいい見た目とは裏腹にギャップがあるのもまた私の魅力なのかも…。


 9月の行事予定

1日（木）区長会	19日（月）敬老の日	
3日（土）わんぱく体験団③	22日（木）シークワサーの日	
4日（日）（中）久志駅伝大会	23日（金）秋分の日	
12日（月）（小中）振替休日（9/17）	24日（土）地区中体連陸上（弁当の日）	9月30日
16日（金）郡ゴルフ大会	26日（月）（中）振替休日（9/24）	
17日（土）（小中）運動会（弁当の日）	27日（火）交通安全推進村民大会	クルミの日
	29日（木）定例教育委員会議	